

## 世田谷ケアマネジャー連絡会 第9回総会基調講演

### 「介護支援専門員に求められるマネジメント(チームマネジメント)」アンケート集計結果

実施日時 平成29年4月14日(金)19時～21時00分

場 所 梅丘パークホール

講 師 國光登志子 氏

(日本地域福祉研究所理事・主任研究員／東京都介護支援専門員協議会理事)

回答数 78名

集計担当 川上直子

#### 1. 本日の講義について理解はできましたか？

① よく理解できた・・・ 17名

② 理解できた・・・ 43名

③ どちらともいえない・・・ 14名

④ 理解できなかった・・・ 3名

無回答・・・ 1名

#### 《自由意見》

- ・ 難しかった。具体的な手法や方法を示していただけたら、もう少し理解できたのかもしれない。
- ・ チームマネジメントとしてのCMの役割、一人一人チームメンバーの役割を理解し説明できること。
- ・ 書面が難しいし、話が一方的で理解が深められなかった。
- ・ チームケアの本来のあり方を、内容のある会議を行うことへのアプローチを、ケアマネとして考えていきたい。アプローチができることでチームマネジメントができるのではと思う。もちろん、本人、家族への働きかけ、医療への働きかけが大切と思った。
- ・ チームケアの大切さ
- ・ 改めてチームマネジメントの大切さを理解できた。
- ・ チームマネジメントの具体例が欲しかった。
- ・ 先生の講義が上手でよく理解できました。
- ・ 使う言葉は簡単だが、要するに何が言いたいのか頭の中にすーっと入ってきません。
- ・ チームマネジメントによるインパクトゴールの設定をケアプランに位置付け、毎月の評価に持っていけるのか？と思いました。現在のケアマネジメント業務の見直しも同時に必要かと思いました。
- ・ 新しい知見や考え方がない講義であった。
- ・ インパクトゴール(わくわくするようなゴール)とは具体的にどんな場面に効果があったか？インフォーマルサポート(見守り、ゴミ出し)はどんなところで行われているか？
- ・ チームの中に近隣のインフォーマルが関わっていると、個人情報などをどのように共有し、秘密保護や、ご本人の価値を引き下げることにならないよう理解を求める・理解の質を上げるのが難しいと感じます。悩ましいところです。
- ・ お話の内容が抽象的であり、具体性がなく理解に欠けた。
- ・ 基本的なことのようなが真理だと思う。

- ・ チームの大切さ、インフォーマルの大切さ、作るときの大変さ、リーダー不足は感じる。
- ・ 一つの考え方としては理解できました。
- ・ 改めてチームマネジメントに関して気づかせていただきました。
- ・ 基本に戻って再認識を持つような動機付けになりました。
- ・ 専門職に限らずチームマネジメントのあり方を再認識できました。インフォーマルサポーターの巻き込み方、活用できるようになりたいです。
- ・ チームマネジメントが求められている背景は介護保険サービスの中だけでは対応できない多種多様な問題を抱えた人々が多くなってきたからではないか。
- ・ チームアプローチにより、インパクトゴールを目指す。構成員がわくわくするようなゴールを定められるのは、限られたケースにのみ該当するのではないかと思う。利用者をその気にさせるのは至難なことだと思う。
- ・ 今は「チームマネジメント」という言葉は当たり前のものとして耳にしていますが、介護保険法や運営基準に初めから謳われていたものであったということ振り返ることができました。
- ・ ひとつのことへの説明が長く、いつの間にか次へ行くという講義形式に慣れず苦戦。伝えたいことが一杯あったんでしょね。
- ・ インパクトゴールを定めてチームとしての支援に結び付ける。
- ・ 難しかったです。
- ・ 介護支援専門員は利用者のケアマネジメントだけでなく、チームのマネジメントも求められている。利用者・家族を含めたいろいろな職種を含めたチーム全体が利用者の自立支援を共通の目標とし、QOLを高めることをゴールとすることが必要。
- ・ 資料を読み上げるのみだったので、一言付け加えも欲しかった。
- ・ 本人の意欲を引き出せるようなインパクトゴールが設定できるようにしていきたい。
- ・ チームマネジメントに関するもう少し具体的な説明があるとよかった。
- ・ 具体例を示して話をしてくれたほうがわかりやすい。
- ・ 紹介された映画に興味持ちました。
- ・ ペーパーワークをしている自分の見直しことができました。
- ・ 難しい言葉の表現だがよく見ているととてもよくまとまっている。ゆっくり考えながら取り組んでいきたい(事例検討 何故・・・何故・・・?)
- ・ まだ新米なのでうまくイメージすることができませんでしたが、振り返ってチームマネジメントの意味を考えたいと思います。
- ・ インパクトゴールを、“わくわくするような”内容を、ご本人と一緒に考えていきたいと思います。
- ・ チームとしてはマネジメントをしているがなかなか成果としてできていない場合もある。
- ・ 基本に戻ることは大事だと思う。チームケア、連携、コミュニケーションとこいつつ、役割分担、専門性の尊重、協力、課題の共有・・・再認識したいものである。事例検討だけではなく、研究し、日々考えていきたいと思う。
- ・ 地域包括ケアシステムにおけるチームマネジメントが重要であることが確認できました。
- ・ チームマネジメントは実行が難しい。
- ・ 國光講師の話の中でももう少し事例があったらわかりやすかったのではないかと思います。

## 2. 本日の研修で、今後の業務に役立てたと思うことはありましたか。

① はい… 50名

- ・ 共通の目標＝インパクトゴールを意識していくことの大切さ、チームマネジメントにはかかせないものであると理解できた。
- ・ ケアマネジメントだけではなく、チームのケアマネジメントが求められるという点。インパクトゴールを目指す。具体例があればもっと深く理解できたと思います。
- ・ チームアプローチからチームマネジメントを行う考え方が少し理解できました。サービス担当者会議で専門的立場からの意見など本当に聞いているのか？ペーパー上でのチームになっているのではと反省しました。今後よく理解して行っていきたい。
- ・ インフォーマルサービスの担当者をケア会議に参加してもらうこと。
- ・ 「インパクトゴールを設定する」という視点をもって、利用者・家族がわくわくするような目標を考えてみようと思いました。
- ・ チームアプローチを意識して、また自分の役割を理解しながらマネジメントを行う。
- ・ 質疑応答のときに医療側に歩み寄る手立てがあることがわかったので今後は役立てたいと思う。
- ・ チームリーダーとして各担当者との顔の見える関係づくりを積極的にしていこうという気にさせられました。
- ・ 自立支援
- ・ 理屈、スキームの理解に役立った。
- ・ インパクトゴールを意識することを心がける。配布資料も良かったです。
- ・ プランが終わった際にチームで確認することは大事だと思った。
- ・ 主治医(大きな病院)会議出席が難しくても、病院側の退院のカンファ等を大いに利用する。
- ・ インパクトゴールを設定するのが大切だと気づかされた。
- ・ チームケアを行う上で、動きとつながり、その後の変化に着目し、支援していく。
- ・ チームケアによるインパクトゴールを目指す。
- ・ 「インパクトゴール」「心を通わせる」「その人らしい思い」 支援に役立てたいと思います。
- ・ チームマネジメントを頭の片隅に置いて、どのような準備を行えばよいか考えていきたい。
- ・ インパクトゴールの設定。利用者の自立を促す。
- ・ 真のニーズとらしさを追求するため、クライアントにきちんと向き合うことで、それをチームで共有して初めてチームマネジメントといえるということを再認識しました。
- ・ 思うような、想定したような結果が得られなかったときに、チーム員で話し合うことの大切さを再認識できた。
- ・ ミニワークを事業所内でやってみたいと思いました。
- ・ インパクトゴールの考え方、視点。
- ・ 講師の話全般。
- ・ 利用者の自立支援を目指し、チームの要となるケアマネジャーとして日々頑張りたい。
- ・ チームケアの大切さ
- ・ 参考になるところを取り上げていきたい。
- ・ 限られた資源で効率よく、という点に共感し、心がけたいと思いました。
- ・ 援助の質を高めていくことを常時心がける。
- ・ 具体的な質疑応答

- ・ いまさらながら、その人らしくということがわかりました。医師との連携では、家族・利用者等と連携することが大事である等。
- ・ チームマネジメントの必要性。
- ・ チームコミュニケーション
- ・ チームマネジメントの中にインフォーマルの人を入れて対応していきたいと思います。
- ・ インパクトゴールを、利用者自身がドキドキわくわくするゴールを表現されたことに共感しました。
- ・ インパクトゴールの大切さを再認識し、チームの組み合わせだけでチームマネジメントとっていなかったか、今一度基本に立ち返りたいと思いました。
- ・ チームマネジメントがうまくいっていると思うケースとそうでないケースがあり、なぜかなあ・・・と思っていましたが、目標設定がずれているからなのかと気づきました。
- ・ プランに入れた担当者会議を開催した・・・やったつもり。リーダーシップの必要性はあるが、チームのまとめ役、調整役であることを忘れない。自己満足では QOL の向上につながらない。
- ・ チームアプローチの重要性を学べた。
- ・ サービス導入時に他職種の方々と情報共有することで協力体制ができ、QOL を高めるための対応ができていける。インパクトゴールの定義と特徴は参考になりました。
- ・ 介護保険の原点、基本を再確認できました。
- ・ 各専門職を今以上に理解していきたいと思います。
- ・ インパクトゴールという言葉を知ったこと。
- ・ 社会資源をもう少し取り入れたいと思った。
- ・ 介護支援専門員はケアチームの要としての役割のみではなくチーム員のモチベーションアップにつながるように運営していくことが大切。難しいがチームマネジメントにおいて重要だと思った。大きな病院の Dr との連携は難しいと思った。利用者・家族を通すのも難しかったりする。的を射て聞きたいことを聞いてもらえない。病院でのカンファレンスは退院時くらい。普段病院でそのような時間を作るのは難しい。通院に同行するくらい。
- ・ 利用者に対する支援を、介護保険サービスだけでなく生活全般の支援を行うために、ほかのサービス、特に地域の住民による自発的なサービスも、その利用者にとって必要なものは取り入れる努力をし、アプローチをしていこうと思う。

② いいえ・・・ 3名

- ・ 理想はわかるが具体的な案がなくイメージできない。
- ・ すでに意識化させられている内容であった。

③ その他・・・ 3名

- ・ 多職種との連絡がそれぞれ忙しくとりにくい。大変です。
- ・ 概念的なものがほとんどでしたので・・・参考にはとてもなりました。考え方の組み立て方をもう少し掘り下げてほしいと思いました。
- ・ 理想的なチームマネジメントや地域ケア会議の理念はわかるのですが、人間関係の調整やインフォーマルサービスに関する調整までケアマネの責任になるのは荷が重い。そこまでやらなければならないならば、せいぜい10件くらいまでが限界だと思う。地域ケア会議に出ても区が何とかしてくれることはないし、結果的にケアマネの責任が重くなるだけなので、区に相談したり、地域家会議を開いてくださいと依頼をすることも億劫になってしまう。

無回答・・・ 22名

- ・ インフォーマルサポーターの対応
- ・ いいチームを作りたいと常に思っています。その具体的な方法を経験談として示してほしい。せっかくのミニワーク 3 事例が示されているので、参加者の意見・対応策を聞きたかった。時間が足りないのは理解しているが・・・
- ・ ミニワークに記載された事例は実際にあることなどで今後も考えていきたい。
- ・ 具体的なものがなく、自分で足りない部分を見つけ切磋琢磨しなければならないと思った。
- ・ チームマネジメント／インパクトゴール
- ・ 改めてチームアプローチによるチームケアの必要性を感じました。
- ・ 今まで以上に各事業所間での連携(サ担時に決定する方向性などだけではなく)、利用者様の生活の為、在宅生活の為に必要な優先順位など見間違わないよう。ご本人の気落ち、タイミングなど見逃さない、間違えないように。生活や家族のかかわりが難しい複雑な過程、ご利用者様が多い中、チームマネジメントの大切さは実感するところ大きい。また、近隣や地域のかかわりも含めまとめたいかなくてはならないことはとても難しい。
- ・ チームマネジメントが効率的に、円滑に行われるために(1)準備期(2)開始期(3)作業期(4)終結期の取り組み。
- ・ チームマネジメントについて、イメージがわからなかった。
- ・ インパクトゴールを目標にチームマネジメント 頑張ります。
- ・ 普段は何気なく流してしまう作業を、チームマネジメントを意識した作業に変更することに役立たい。 → 準備段階から、アセスメントをしながら「インパクトゴール」を決めるということをしていきたい。
- ・ 楽しいわくわくする自立支援 インパクトボール(理解・尊厳)・チーム・QOLを高める・見守り やさしい言葉で、これに困っている・これをつなげるチームマネジメントになっていく言葉を組み込んでいきたい。もう少し良く知りたい。
- ・ 受け持っている利用者でチームマネジメントが機能していないと感じるチームがあると振り返ることができたので、今後チーム作りの再形成をする上でどうするべきか考えていきたい。
- ・ インパクトゴールを楽しいものにしていく。
- ・ インパクトゴールという言葉は知りませんでした、理想論ですが目指したいです。

### 3. 世田谷ケアマネジャー連絡会に、今後どのような研修を望みますか。

- ・ 昨年度のようにいろいろな地域で研修をしてほしい。
- ・ 障害者福祉について(制度・サービスなど)
- ・ 総合事業に関する勉強会／生保・身障などの支援について／認知症ケアについて／若年性認知症ケア
- ・ ケアマネジャーとしての方向はわかるが、サービス事業所に対するケアプランのアプローチはどうか？各サービスプランの読み解き方などが勉強できたらおもしろい。
- ・ 新人ケアマネ用の研修があったら参加したいです。
- ・ 今後も今日のように一つのテーマを掘り下げたものを扱っていただければと思います。
- ・ 各地域の連携医を集めて、医療と介護の連携を高めてほしい。
- ・ マネジメントについては大切なことなので定期的に研修をしていただきたい。
- ・ プラン点検

- ・ 認知症の方のケアマネジメント／チームマネジメントに興味あります。でも、理想論でなくも少し実務的な内容を。
- ・ 認知症の家族ケア、対応について
- ・ MS、看護師、訪問診療 SW などとの連携
- ・ 「虐待とケアマネの仕事」について多くの事例に接することのできる研修を望む。
- ・ 事例検討
- ・ アセスメントの手法(竹内式以外でも)
- ・ 法令に関しての研修など。
- ・ 各地域で行ってほしい。
- ・ テーマ別事例検討
- ・ 考える力、まとめる力をケアマネがもっと持てるような研修
- ・ ケアプランの組み立てというか、流行りがあると聞いたことがあるんですが、そのような研修があれば参加したいです。
- ・ 包括とケアマネの連携の在り方を検討しあえるような場。地域包括ケア会議や地域包括ケアの推進のためには不可欠。
- ・ 今後もケアマネとしてのスキルアップになるような研修を行ってくださることを期待します。
- ・ サービス提供者との交流会
- ・ より具体的な研修を望みます。
- ・ 実務に連動するもの。
- ・ ケアマネジャー同志の意見交換会等希望します。事業所内で間違った情報等そのまま過ごしていることもあるので、様々な意見交換会ができるとういことです。
- ・ 地域ケア会議について
- ・ スーパービジョンの研修をお願いします。山田先生の講演が聞きたいと思います。自立支援についての研修が聞きたいです。
- ・ アセスメント力が向上できる内容の研修
- ・ 楽しく学べる内容であればいいです。法改正(介護保険だけでなく、その関連する法律にかんするものも)
- ・ 医療連携
- ・ マネジメント研修はもちろんですが、障害研修も併せてお願いしたいです。
- ・ とっても基本的なことですが、モニタリングやケアプラン(特に2表)の書き方を学びたい。
- ・ いまさら聞けない、でも忘れていがち、見落としがち制度・法令などの勉強したい。当たり前と思っていたことがえっ！！と思うことなど。
- ・ 昨年も一度あったが、運営減算についての研修を行ってほしい。
- ・ 地域包括ケアシステムについて。

#### 4. 世田谷ケアマネジャー連絡会へのご意見やご要望をお聞かせください。

- ・ ホームページの更新を多くしてほしい。
- ・ CM資質向上に向けいろいろと計画していただきありがとうございます。
- ・ ホームページを見ても情報が古いので、まめにアップしてほしいです。
- ・ 予算の捻出については積極的に寄付金を募ればよいと思います。

- ・ 会費を上げるにも同意を得られるよう努力してほしい(上げるの賛成)。
- ・ 制度改正に対する意見を集約して発信してほしい。
- ・ いつもありがとうございます。
- ・ お疲れ様です。
- ・ 会費の件は増額しても良いと思います。
- ・ 頑張ってください。メンバーが増えましたね。
- ・ おつかれさまです。
- ・ 色々皆様頑張っていらっしゃると思いました。何かあれば少しでもお手伝いをしたいと思います。
- ・ お忙しい中企画いただきありがたく思っております。今後研修や会の案内が会員全員に確実に届くようにお願いします。施設や地域密着型にも、ケアマネジャーがいますので、忘れないでください！
- ・ 会費については上げる方向で問題はないのではないのでしょうか。
- ・ 医療・介護の連携のため、まだまだ医療側に現状を理解していただいていない部分が多い。現場のケアマネの声を届けてほしい。

以上